

海外における発信拠点(例)

【ドイツ・ベルリン】 キュンストラーハウス・ベターニエン

【設置】25のスタジオ、展示・工房スペース
【運営組織】公益目的の有限会社、
常勤スタッフ7名

【プログラム】

- ・専門的スタッフによる創作活動支援
- ・内外の美術界の専門家との交流・対話
- ・展覧会の開催、出版物作成・配布支援

● 世界各国とパートナーを組んで、代表する若手芸術家を選考し、招へい(1975年創設以来 約1000人が滞在)

● 世界的に知られる芸術家の交流の場



アーティスト・イン・レジデンス 事業の5年間の計画過程

1年目(2011)～2年目(2012)

国内レジデンス機能の強化

- ・招へい数の拡大
- ・滞在期間の拡大
- ・専門スタッフの配置による支援充実

3年目(2013)～4年目(2014)

国内外芸術家・レジデンスとの交流を活発化

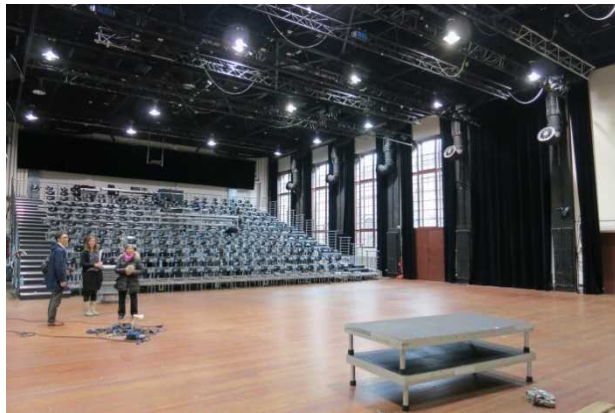
- ・海外レジデンス推薦者の招へい
- ・国内外の芸術家との交流、共同創作
- ・国内レジデンス団体との交流活発化

5年目(2015)

海外との定期的交流・国内ネットワーク形成

- ・国内外レジデンスとの連携・協力の実施
- ・地方公共団体、企業、文化関係機関との連携・協力の実施

※海外とのパートナーシップの例(2011年以降)
・秋吉台国際芸術村: フィリピン, 米国, 韓国, 台湾



【世界的な芸術家が滞在して交流することにより影響を受けた事例】

「この土地で作品を育てる／ここから宇宙と対話する／この人々と一緒に時代の物語をつくる」

2012年に高松宮殿下記念世界文化賞を受賞した美術家・蔡國強氏が1994年にいわき市立美術館で開催した個展のテーマ。個展開催前は約半年間、いわき市に滞在し制作。以後、氏といわき市の芸術家や市民との交流は続いており、2014年4月には、震災後の桜植樹のプロジェクトの一環として、氏の発案で回廊美術館を開館。